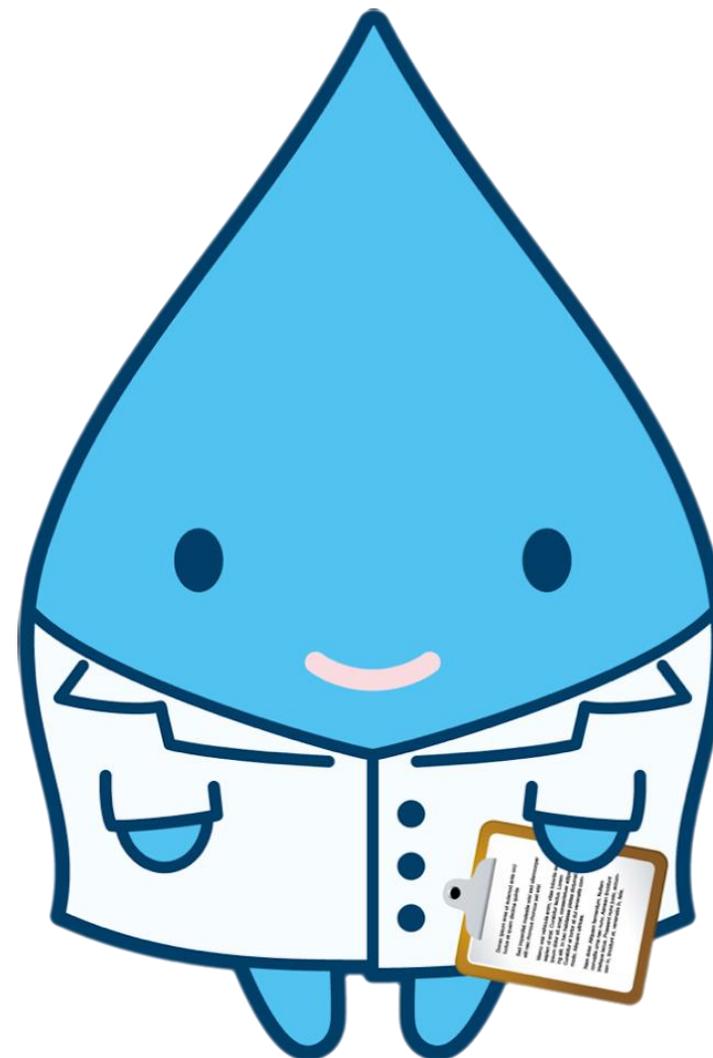


包皮灸

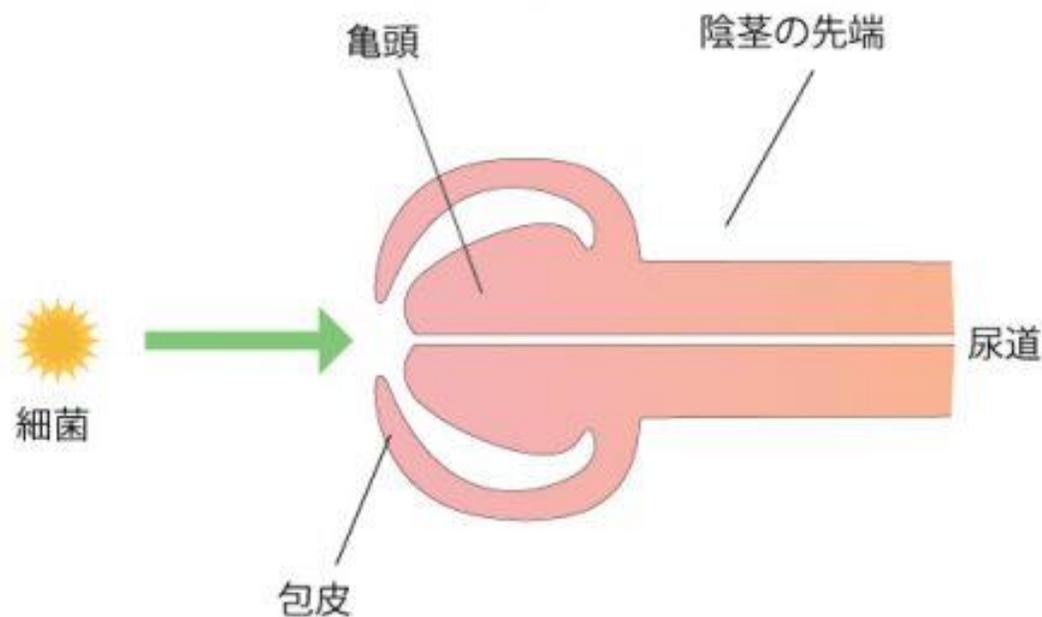
はら泌尿器科クリニック





亀頭包皮炎

男性の陰茎(いんけい)先端部分である亀頭部を覆っている皮膚を包皮(ほうひ)といいます。乳児期には包皮が亀頭部を覆っています(包茎=ほうけい状態)が、成長とともに包皮を翻転(はんてん=ひっ繰り返すこと)できるようになります。包茎状態の場合、包皮と亀頭部の間に細菌が繁殖し、感染すると、亀頭包皮炎を発症します。具体的には黄色ブドウ球菌、大腸菌、レンサ球菌などが原因になることがあるようです。



症状

陰茎先端および、時には先端から2cm程度離れた部分まで、包皮が赤く腫れます。腫れた部分に触れると痛みます。

排尿時に痛みを感じることや、陰茎先端から膿が分泌されることもあります。



治療

抗生物質で治療をします。通常、数日で症状は改善しますが、腫れが治まった後、包茎状態の治療を検討する必要があります。小児の包茎については、包皮翻転を促すこととなります



予防として



包茎を改善させることが、予防につながります。

小児の包茎については、自然に改善することも多いのですが、少しずつ包皮をむく練習を乳児期から行ない、数年かけて包皮を翻転させるようにするとよいでしょう。

子どもが痛がるような指導ではトラウマになることも危惧されますので、子どもが自発的に、包皮をむくように指導することが大切です。